

(別紙) 令和2年度 第1回加東市自転車活用推進計画策定協議会の経過

- 1 開会
- 2 各委員自己紹介
- 3 会長選出
- 4 議題

(1) 自転車の活用推進について

発言者	会議の経過／発言内容
資料1～3を事務局説明	
委員	国が示す自転車活用推進計画の基本方針で、加東市でアレンジできるものはあるのか。
事務局	現時点では検討段階である。
委員	自転車ネットワーク計画をこの計画の中に盛り込むのか。今後、ネットワークルートについては、示されるのか。
事務局	今後、案を示す。
委員	国の法に基づき、目標が4つある。この目標全てを計画に盛り込むとなると、かなりのボリュームのため、ある程度絞る必要がある。また、アンケート調査を実施し、どの路線に自転車利用が多く、どこで事故が起きているかを把握する必要がある。それから、この協議会の構成メンバーで専門的な意見を聞けない分野があるので、協議会へ専門家の出席を求め意見を聞いたり、ワーキンググループを設置し、協議をする必要があるのでは。
事務局	計画は、目標全てを盛り込むのではなく、加東市の実情に応じた目標を選択したい。また何らかの形で、有識者の意見を聞けたらと考えている。

(2) アンケート調査について

発言者	会議の経過／発言内容
資料4を事務局説明	
委員	まず、計画の全体像（基本目標や基本施策）があって、その上で、計画策定をするのに補足的にアンケート調査をすることはあるが、全体像がこれからののにアンケートを先行してやるのか。
事務局	自転車道を整備するにしても、どのあたりを整備するのか、手がかかり

	がない状況であるため、アンケート調査をすることで、何かヒントがあればと考えている。
委員	アンケート対象は。
事務局	社高校の生徒と一般の方（市内施設で実施）が対象。
委員	外国人就労者が通勤に自転車を多く利用しているが、外国人へのアンケート調査は、母国語に翻訳するのか。
事務局	日本語理解が難しいと考え、外国人就労者を雇用する事業者へ聞き取り調査を実施したい。アンケート内容は、どのくらいの就労者がいて、どのような交通安全指導を行っているのかを聞き取りしたい。
委員	外国人目線での意見を聞きだしていただきたい。
委員	対象者を高校生や街頭でのアンケートの実施となると、限定的な調査となる。もう少し幅広くとらえ、小中高校生の子供がいる家庭の保護者にも意見を聞くなどの工夫が必要。また、地図を添付し危険箇所を問うのであれば、もう少し詳細な地図を添付し、よく利用する自転車ルートを示してもらえば、有効なデータ収集ができるのでは。
委員	そのデータ取りにより、通勤通学ルートが重なることで、どのルートの利用者が多く、どこに安全対策が必要か見えてくる。
委員	アンケートの冒頭に自転車は自動車の仲間であることの認識があるのか、自転車は左側走行であることを理解しているかを聞いてほしい。
事務局	自転車は車両の認識があるかを設問に加えるか、検討する。
委員	東条地域は、通学に自転車を利用する生徒が少ないので、データが取れにくい。実際東条地域には、自転車走行をする中で、危険と感じる箇所がある。WEBアンケートを実施してはどうか。
事務局	検討する。
委員	高校生の通学時間帯と外国人就労者の通勤時間帯が重なり、車道へはみだし、走行しているときがあり、危険である。
委員	アンケート対象者ごとに、アンケート内容を変えてみては。また、交通量調査をやってみては。加東市の自転車利用の多くは、通学と外国人の通勤利用で、これが加東市の特徴でもある。
事務局	アンケートの取り方は検討する。
委員	他の市町の計画を参考にしたのか。
事務局	安全面を問う設問は参考にしたものはあるが、ほかの設問はオリジナルである。
委員	実施する施策として、観光面は取り入れないのか。

事務局	観光メインよりは、道路整備がメイン、通勤通学者が道路を利用する上で、快適な通行空間を整備するのがメインと考えている。
委員	県がサイクルツーリズムに取り組み、ほぼ形づくられているので、それを取り込みつつ、それ以外の日常使いの自転車利用者へのアンケート項目を設定し、計画を策定する方法もあるのかなと考える。
事務局	意見を参考にし、検討する。

5 今後のスケジュールについて

6 閉会